

暮らし

質問 50代の男性です。健康診断の腫瘍マーカー検査で要再検査と言われました。この検査とがんとのどのような関係があるのでしょうか。



高松 典通 徳島大学病院 診療支援部長

答え 腫瘍マーカーは、がんの存在を示す目印(マーカー)になり得るものの総称です。主に、がん細胞がつくる特徴的な物質が目印として用いられ、その物質が増えたときにがんの存在を疑います。腫

腫瘍マーカー検査とがんの関係

腫瘍マーカーは主に血液で測定しますが、尿などで調べるものもあります。

腫瘍マーカーの検査は、がんの診断補助として用いられますし、治療が始まってからは、測定値の変化により治療効果を見ます。腫瘍マーカーの値が下がれば治療効果が表れていると判断し、上がり続けるようであれば治療法の見直しを行います。治療後も、定期的

に測定して測定値の推移により再発がないかを見

ます。

腫瘍マーカーには多くの種類があり、全身のさまざまながんが検査の対象となります。どこにできたがんかを特定できる「臓器特異性」が高いマ

ーカーとして、例えば前

立腺がんのマーカー「PSA」や、肝がんのマ

ーカー「AFP」「PIV

KAI-II」などがありま

す。

一方、特異性の低いマ

ーカーとして「CEA」

があり、胃がん、大腸が

んのほか、肺がんや乳が

んなどでも高くなりま

す。幾つもの臓器のがん

発見のための診断補助

このようなときは、幾

つかのマーカーを組み合

わせて検査することで疑

わしい部位がある程度絞

り込むことができます。

また、CTやMRI、内

視鏡や超音波などの画像

検査で詳しく調べます。

がんの結果は、健康な人の検査値を基にした基準値と比較して判定します。基準値を超えた場合は陽性

としますが、陽性と判定

されても、がんではない

質問募集 がんに関する質問は、徳島がん対策センター(電088(633)94008)平日午前8時半~午後5時)にお寄せください。http://www.toku-gantaisaku.jp/でも受け付けます。